

サステイナブルなひと、 生活クラブ

あんしん食 届けする生協です

特集

韓国住民ドゥレ生協 交流会・訪問



地球の生態系を維持するため、海や陸の環境保全と気候危機対策に取り組みます

サステイナブルなひと、
生活クラブ

EVトラック納車式

寄り添う気持ちもいっしょに届ける「おふくわけ」

組合員が食材を注文することで生活困窮者支援に参加できる「おふくわけ」。
2025年度もフードバンクTAMAを通して都内の団体に「おふくわけ米」などを届けました。2026年度も年3回の取組みを予定。注文を通じて地域内の支援の輪を広げる活動にぜひご参加ください。

第1回 取組 おふくわけ米 1口 484円(税込) 予定
注文をまとめて5kg単位でフードバンクTAMAに届けます

配送 6月4回(25週)企画 注文書提出メ切 6月15日~20日
※eくらぶ、生活クラブアプリからお申込みできます

デポ 申込受付期間 6月8日~19日
デポーのレジでお申込みください

2026年2月23日、葛飾センターで生活クラブグループ初となるEVトラックが導入されました(関連記事 P2)



▲京畿道城南市 (Wikipediaより)



韓国の住民ドゥレ生協と生活クラブ東京は、1997年に姉妹提携を結んで以来、相互に訪問して組合員や職員の交流を行い、理解を深めてきました。

昨年11月の交流会では、東京の組合員6名と職員3名が訪韓し、住民ドゥレ生協と地域の協同組織の視察の他、小さな教会から始まった生協設立の経緯などを学びました。

韓国の歴史的背景と「社会的連帯経済」の在り方を知ることで、私たち生活クラブの在り方や「協同組合の意義」を再確認する訪問となりました。

◀空港で迎えてくださった
(左) キム・ミンホ常務理事 (住民ドゥレ生協)
(右) イ・ヨンジン常務理事 (京畿南部ドゥレ生協)

住民ドゥレ生協について

「住民ドゥレ生協」は、韓国京畿道(キョンギド)の城南市を中心に活動する生協で、イ・ヘハク氏らが設立した「住民生協」が基となっている。1991年に現在の経営諮問理事であるチェ・ミンギョン氏ら職員が来日し、生活クラブの配送センターで長期研修生として働きながら、生活クラブの理念や事業、組織運営について学んだ。その後、お互いの生協の取組みを学び合いながら交流が続いている。

組合員数 15,575 世帯
利用高 年間 約 64 億ウォン(2024年現在)



▲チェ・ミンギョン
経営諮問理事



▲(左より) 金丸専務、加瀬理事長、
ソン・ミギョン理事長 (住民ドゥレ生協)

ソパンギョン 西板橋店

店内には韓国ならではの食材や日用品が並ぶ。店舗から配送もしており、バイク便に業務委託して、午前中に注文したものが翌日届けられる。

組合員数 1,924 世帯



▲奥に長いコンパクトな店舗



▲さすが韓国。美味しそうな食材が所狭しと並ぶ

イ・ヘハク元老牧師講演

～生協運動の根幹は命を守り育てていくこと～

韓国を代表する社会運動家で、住民ドゥレ生協創設者のイ・ヘハク氏より話を伺った。イ・ヘハク氏は1973年に住民教会を設立し、民主化運動の中で弾圧された住民の生活基盤をまもり、自立を助けることに率先して取り組んだ。1979年には、自立に必要なお金の問題を解決するため、住民信用協同組合(協同組合型の金融機関)を設立。そして1987年、韓国の民主化が実現すると、「生命尊重と環境汚染を防ぐ」ために住民生活協同組合※を1990年に設立した。

イ・ヘハク氏は、韓国の生協運動は民主主義運動と深く結びついており、市民が共同体をつくって自ら社会を変えてきたと語る。「日本と韓国の間には暗い歴史が影を落としているが、国も生協も対話を通じて連帯を深め、平和を実現していかなければならない。生協運動の根幹は命を守ること。人のみならず全ての命を守り育ててください。」という言葉が印象的だった。

※2012年ドゥレ生協連合会に加入して現在の名称になる



住民教会

1973年イ・ヘハク氏により設立された。城南市の貧民地域における民主化運動と南北統一運動の拠点であり、現在の住民ドゥレ生協の母体となった。小さな教会から地域協同のネットワークが広がった。

訪問先

ソナム 城南民主化運動 記念事業会

1987年の民主化運動を記念して2002年に設立。市民が戦って勝ち取った民主主義を守り、民主化運動を知らない世代に伝え広める事業を行っている。

ソナム 城南イロウン財団

持続可能な地域共同体「市民による、市民のための、市民の財団」の実現をめざして設立。社会的弱者・若者・NPOなどへの助成を通じて市民参加型の社会的連帯経済「美しい財団」を推進している。

住民信用協同組合

1979年に住民教会の教徒47名がひとり1,000ウォンを出資して設立した。今では自治体とも連携して大きく発展。地域コミュニティへ利益を還元する持続可能な経営を行っている。



▲地域に根ざした金融機関として親しまれている

みんなで一緒にケアセンター (放課後児童クラブ)

住民生協から生まれた「社会的協同組合ドゥレ」が城南市から委託を受けて運営している。共働きやひとり親家庭の小学校低学年児童を対象に、放課後の預かりを行う。おやつや夕食には生協の食材を使用。子どもたちは自由に遊んだり勉強したりできる。



▲大規模マンションでの設置が義務づけられている

母子生活支援施設 セロイセナムイジプ (鳥の巣箱)

国の法律に基づき、(社福)東方社会福祉会が委託運営している母子家庭のための福祉施設。最大3年間の生活支援や就労支援が受けられる。



▲家電も備えつけられて、身ひとつで入居できる

バルダン 八堂生命を生かす営農組合

有機農業を行う生産者48名がつくる組合。多品目小規模農業を行う。援農・交流を通じて生産者と組合員が信頼関係を築き、環境保全と地域水源を守る取組みをすすめている。



▲生産者の方々と共に

訪問を終えて

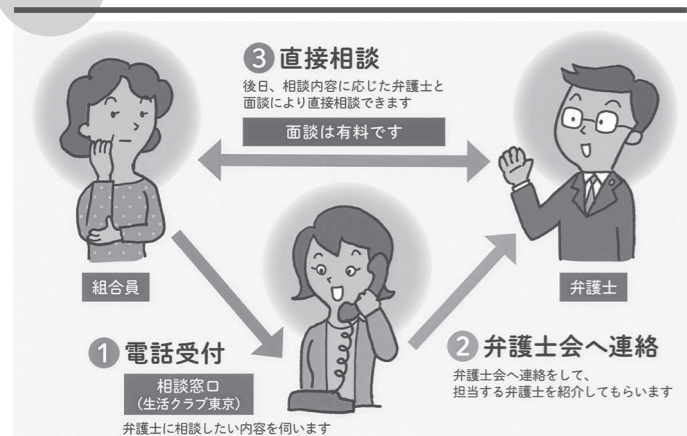
今、国際社会の情勢は混乱を極め、社会には不安が広がっています。今こそ、経済成長ばかりを追求するのではなく、社会的利益のために連帯し、「人」と「(地球)環境」を軸とする経済=社会的連帯経済を協働して広めるといった協同組合的社会的な社会づくりが重要であることを改めて確認することができました。「生協運動の根幹はあらゆる生き物の命を守ること」というイ・ヘハク氏の言葉は、両国共通の思いです。

韓国には政治的変化のたびに政府と戦い、市民の手で民主主義を勝ち取ってきた歴史があります。地域の市民が自らの手で経済・福祉・教育をつくり出す住民ドゥレ生協の実践からも、協同組合が地域社会の基盤となり得る力を実感しました。

3日間、ソン・ミギョン理事長をはじめ住民ドゥレ生協に関係するみなさんに心から歓迎していただき、大変お世話になりました。次回2027年の迎える交流会では、生活クラブの実践を紹介できることを楽しみにしています。



高齢者・障がい者のための相談窓口



高齢者・障がい者を担当している弁護士を紹介する相談窓口です

対象 生活クラブ東京の組合員とご家族

相談内容 高齢者・障がい者の方に関するご相談

例) 成年後見制度、財産管理、介護契約、サービス不服申立、遺言作成、民事信託等 ※将来の不安に備えるためのご相談も受け付けます

提携先 第二東京弁護士会

●受付事例の紹介

父親が亡くなり、母親が認知症なので、成年後見と相続に関する相談をしたい。	父親が認知症に…。しかし、後見人でないため、定期預金が解約できずに困っている。	夫婦ともに高齢になり、障がいのある子どもの先行きが不安です。解決策を相談したい。
--------------------------------------	---	--

2026年4月より受付(受電窓口・電話番号・曜日・時間)が変わりました

受付	おしえてネット 月～金(祝日をのぞく) 10:00～15:00 ※夏季休業期間など不定期にお休みがあります	TEL 03-6679-6103	
----	---	------------------	--

東京役員の リレーコラム

おふくわけで食の支援の輪に参加しませんか

2024年度から取り組みがスタートしたフードバンク「おふくわけ」の報告会を3月に開催しました。連携している中間支援団体とそこから支援を受けて利用している団体の活動報告を受けて、その後交流をしました。

報告の中で団体の方々からは「みなさんが届けてくださったのは食べ物だけではなく、家族で過ごす幸せな時間そのもの」「食べ盛りの子どもの『お腹がすいた』」にこたえられたのは支援のおかげ」「いただいたお米のおかげで、卵やお肉を購入することができました」「支援のおかげで食卓に笑顔が戻り、お腹が満たされると心も満たされ前向きに過ごせています」などの温かな言葉をいただき、私たちの心まで温かくなりました。

この取り組みは、組合員が消費材と一緒に「おふくわけ1」と注文することで、お米を必要とされる団体やご家庭への支援につながる活動です。長期のお休み前にお届けができるように年3回の取り組みをしていますので、今後さらに参加する組合員をひろげていきましょう。

(生活クラブ東京 副理事長 小寺 浩子)



展示即売会

スーツ・ジャケット・ワイシャツのお仕立て

新柄が豊富です。ジャケット、パンツなど単品の注文も承ります。約4週間でお届けします。

●デポーいたばし 展示会

5月23日(土) 24日(日) 10:30～17:30
会場: デポーいたばし (板橋区徳丸 2-30-16)
TEL: 03-5922-5444

●デポー町田 展示会

5月30日(土) 31日(日) 10:30～17:30
会場: デポー町田 (町田市成瀬が丘 2-27-1)
TEL: 042-706-0360

●デポー国分寺 展示会

6月6日(土) 7日(日) 10:30～17:30
会場: デポー国分寺 (国分寺市泉町 3-33-2)
TEL: 042-359-5160

展示会関連

TEL 03-3324-4502 (10:00～16:00)
定休日: 火・水・日

●かたやま工芸 ジュエリーフェア

5月19日(火)～24日(日)
11:30～17:00 ※最終日は16:00閉場
会場: Gallery KAZE (武蔵野市吉祥寺南町 1-18-23)
年に一度のお得なジュエリーイベント。さまざまな希少石を使用した、個性豊かな新作ジュエリーを取り揃えております。

●きく屋宝石店 夏の宝飾展示会

6月5日(金) 12:00～20:00
6日(土) 10:30～19:00
7日(日) 10:30～18:00
会場: 東京交通会館 12階カトレアサロン (千代田区有楽町 2-10-1)
毎年恒例!生活クラブ組合員とご登録のお客様限定で特別価格で販売いたします。数多くのジュエリーを取り揃えてお待ちしております。

●東京真珠 プレミアムセール

6月5日(金)～21日(日) 11:00～19:00
※9日(火) 16日(火)は休み
会場: 東京真珠(株)銀座ショールーム (中央区銀座 6-16-3)
新たな装いを迎える前に。選び抜かれたジュエリーを特別価格にて準備しております。ぜひご来場ください。

●天地堂 ランドセル

2027年モデル発売!ランドセル専門店の天地堂が自信をもっておすすめします。カタログご希望の方は、お電話または下記の二次元コードよりご請求ください。



※企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

事業部

TEL 03-5426-5206 (9:00～17:00)
定休日: 土・日

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です
入村料: 510円 (4歳～小学生 310円)
駐車料: 600円/1日
イベントはページ右上二次元コードからのお申し込みが便利です

生活クラブ東京企画

●親子でパフェ作り体験 (イチゴ編)
5月5日(火)
① 10:30～12:00 ② 14:00～15:30
参加費: 1,000円/1人
協同村ひだまりファームで栽培したイチゴや生活クラブのアイスを使ってパフェを作ります。

ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画

●石窯ピザ焼き体験

5月2日(土) 3日(日) 4日(月)
6月14日(日) 11:00～13:00
参加費: 1,800円/1人
ピザ生地を伸ばしてトッピング。石窯に入れて焼きます。

●ソーセージ作りと石窯パン

5月16日(土) 10:00～15:00
参加費: 2,600円/1人
羊腸とセロハンでソーセージを作り、石窯で焼いたパンに挟んで食べます。オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

●手もみで美味しい my 紅茶を作ろう!

5月17日(日) 10:00～15:00
参加費: 2,400円/1人
お茶の葉を摘んで揉んで my 紅茶を作ります。石窯でパウンドケーキも作ります!オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

●野菜麴を作って食べよう!

5月23日(土) 10:00～13:00
参加費: 2,500円/1人(昼食付)
塩麴をベースに、季節の野菜で調味麴を仕込みます。

NPO 法人地球野外塾との共催企画

●1日で身につくローテク火おこし

5月17日(日) 10:00～16:00
参加費: 5,000円/1人
マッチ、ライター、ファイアスターター、きりみなど、いくつもの火おこしを体験します。

●手作りランタンでホタル探し

6月14日(日) 13:00～20:30
参加費: 5,000円/1人
自作ランタンを持って夜道を散策し、ホタルを探しに行きます。

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉 863
TEL 042-596-0103
休村日: 火・水 (祝日をのぞく)

生活クラブの学校

【NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン (CS まちデザイン) との共催企画】

受講料は組合員価格 (記載のない場合無料) オンラインの記載がない場合は会場のみ
会場: 生活クラブ館 (世田谷区宮坂 3-13-13)

食農共育講座

詳細はページ右上の二次元コードより WEB サイト、または配布済のチラシをご覧ください

●女性の養生法～漢方的メンタルケア「心のパワーをアップする」～ (オンライン併用講座)

6月3日(水) 10:30～12:30
講師: 邱紅梅さん (中醫師、桑榆堂薬局顧問、北京中医薬大学非常勤講師)
受講料: 2,000円
『生活と自治』でおなじみ邱先生の講座です。真夏の暑さで負担がかかるのは、五臓の「心(しん)」の働きです。冷房による冷え、不眠、食欲不振、過労やストレスなどが、体だけでなく心にも影響します。今回は養生法から漢方薬の臨床応用まで幅広く学びます。

●料理 de 学び講座～男の手料理 中華がゆでランチはいかが?～

6月6日(土) 10:30～13:00
講師: 松元恵さん (CS 料理講師)
受講料: 5,000円 (材料費込み)
※アルコール希望の方は別料金
料理好きも初心者も大歓迎!家族に喜ばれること間違いなしのメニューです。自宅で作れるよう丁寧にお教えます。
メニュー: 中華がゆ、鶏手羽の唐揚げ、マラーカオ

●料理 de 学び講座

～セミナー&クッキング～ (第2回)
6月19日(金) 10:30～13:00
セミナー講師: 近藤恵津子さん (CS まちデザイン理事長)
料理講師: 松田希美子さん (CS 料理講師)
受講料: 4,900円/回
毎月1回開催。食材選びに役立つセミナーと、その食材を使った手軽で美味しい料理を習って楽しく食べるお得な講座です。
セミナー: 米粉も輸入しているの?問題は?
メニュー: プンチャー (つけ麺)、パインセオ (ベトナム風お好み焼き)

※4月号掲載の5月29日(第1回)のセミナーテーマが「放射線育成の米って? あきたこまち Rを知っていますか?」に変更になりました。

NPO 法人 CS まちデザイン
TEL 03-5426-5212

..... 切り取って下の部分を提出してください

わたしの声 カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙または WEB で提出できます。みなさんの声をお待ちしています。

氏名	電話番号	提出日	事務局記入欄
センター 組合員 デポー コード		/	センター/デポー 東京本部 / 印

〈お願い〉 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。

- ①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
- 質問には 2 週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週までです。※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフローワーカーズまでご提出ください。

ご希望のイベント名をご記入ください

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。

- ①ご本人の同意がある時 ②ご本人を特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合



消費材を作り続け、
食べ続けるために
産地で働こう

加工用トマト収穫の 計画的労働参加*を募集します



収穫した加工用トマト

生活クラブの消費材「信州トマトジュース」を利用していますか？

この消費材は、組合員が加工用トマトの収穫に直接参加してつくられています。

真夏の炎天下での加工用トマトの収穫は、農家にとっても大変な作業です。「信州トマトジュース」の原料の産地である長野県飯綱高原でも、加工用トマトの生産者・作付面積は年々減少しています。

組合員の労働力としての参加が生産者を応援し、消費材の持続的な生産につながります。ぜひご参加ください！

*計画的労働参加 組合員の労働参加に対し生産者から労賃が支払われ、その経費を消費材価格の一部として組合員が負担するしくみ

日程 8月16日(日)~18日(火) 2泊3日

場所 長野県飯綱高原

集合・解散 新宿駅西口

募集人数 10人(申込み多数の場合抽選)

申込方法 WEBでお申込み

申込締切 5月15日(金)



お申し込み

- ※交通・宿泊費などの補助や日当あり
- ※長靴・カッパ等は持参ください
- ※宿の食事や昼食でのアレルギー食対応はできません
- ※宿泊は相部屋です
- ※高校生以下の参加は不可です

問合せ:政策推進課 TEL03-5426-5204



早朝、
日陰での作業



収穫用のカゴでつくった日陰で休憩

＼昨年参加した組合員からのコメント／



まち小平
えぐち まき
江口 真紀さん

昨年、「計画的労働参加」という力強い言葉に惹かれて初めて応募し参加しました。産地の飯綱高原は風が爽やかで、作業中は鳥のさえずりや虫の音が聞こえる、とても穏やかな場所です。収穫は腰をかがめて行うため大変でしたが、地面を這うトマトの枝葉をそっとめくり、びかびかに輝く実を見つけた瞬間は宝探しのように、思わず笑顔になりました。一方で、見た目はきれいでも手に取ると地面に触れた部分が腐っているトマトもあり、多い畑では半分以上が収穫できないことも。梅雨明け後の極端な干ばつと8月初旬の記録的な大雨が原因だったそうです。私が参加した期間は5~6カ所の畑で作業が行われ、参加者はそれぞれの畑に分かれて収穫を担当しました。農家さんの個性が畑にも表れていて、「この畑のトマトも、あの畑のトマトも、全部が混ざってジュースになるんだ」と思うと、今では「信州トマトジュース」を飲むたびに産地の風景がよみがえります。

生活クラブにはコロナ禍の直前に加入しました。新規加入者向けの企画で聞いた自然農の話きっかけに、買うだけでなく援農にも参加するようになりました。今回の計画的労働参加は、製品を選んで買うだけではなく、その前段階の「生産」に関わる貴重な体験でした。

農家の方々も温かく迎えてくださり、「農業に労働力として参加する」という同じ目的で集まった、年齢も経験もさまざまな組合員との出会いもありました。生産に携わるとも良いしくみなので、より多くの組合員に計画的労働参加を知ってもらい、ぜひ参加してほしいと思っています。

生活クラブ東京の
最新情報を
WEB・SNSで発信中！

生活クラブ
東京



WEB サイト



Facebook



Instagram